

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	ブランケット			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 17日		～	令和7年 4月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～	令和7年 4月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や長期休暇時の行事で、クッキングや公園散策など様々なことに触れ、興味関心の幅を広げられるように行事の設定を行っている。	行事内容がパターン化しないようにスタッフが順番で行事の設定を行っている。	年間を通して楽しかった取り組みやしてみたいことのニーズ整理を行い、利用者満足度の向上。
2	平日には個別机などの環境構成から個別療育、集団活動等の療育設定を行い、個々のニーズに合わせた対応を行っている。	全スタッフが個々の療育内容の把握ができるようにTeamsを活用し、共有を行っている。	文面での情報共有だけでなく、支援方法の確認や療育道具、声掛けなどの統一支援の質を高める。
3	保護者様との情報共有や情報発信でSNSの活用(HP、Instagram、LINE)を行い、緊急時にも早急に対応できる体制作りをしている。	LINEではリッチメニューの設定を行うことで簡単に連絡がとれるようにしている。	SNS以外の方法も選択ができるようにシステムの構築。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化が難しい。	改修工事を行うには、営業を長期間とめる必要がある。	取り組みや行事内容の設定にて対応を行う。
2	保護者会の開催を年一回行っているが、保護者様より他にも開催してほしいとお声をいただく。	保護者会とは別に企画をしたが、保護者様の参加希望が集まらず、日程調整に課題が残った。	一回の開催だけではなく、複数回の開催、または継続して行うことで少しずつ認知を広げる必要がある。
3	個人情報の保護もあるため開かれた事業所づくりとして地域住民を招待するなど交流機会を設けることが難しい。	災害時などには避難場所としても位置付けられるため、普段からの交流が必要となる。	近隣住民だけでなく、地域との交流機会から関りを広げる必要が感じられる。